

# 薬剤部 部署紹介



## 業務内容

### ●内服調剤業務

処方箋に記載されている医薬品の種類や用法用量を確認し、調剤業務を行います。

患者様個々の服薬記録を作成し、より安全に飲みやすく、副作用や相互作用を未然に防げるよう努めています。

### ●注射調剤業務

注射の処方が出たら、その種類や量・投与速度等が適切であるかを確認し、調剤・監査を行います。個々の患者様が飲んでいる内服薬との相互作用のほか、投与される他の注射薬との配合変化にも注意して調剤しています。

また、TPN混注業務ではより安全性の高い薬を投与する為にクリーンベンチで無菌的に調製し、配合変化や安定性に注意しながら病棟へ届けています。

抗がん剤混注業務では、細胞毒性が強い薬を扱います。

患者様に安全な投与を行う為にレジメンを登録し、それに基づいて調製します。

また、治療上の健康被害を避ける為、用量を厳密に測り取り、混注を行っています。

### ●病棟薬剤師業務・薬剤管理指導

各病棟に担当の薬剤師を配置しています。

患者様が入院される際に薬剤師が持参薬を確認し、入院前の服用薬の把握を行います。

また、自宅での管理状況・副作用歴・剤形嗜好等の確認を行い、薬に関する情報を医師や看護師、その他スタッフと共有し適切な薬物治療を行えるよう努めています。

また、患者様に最善の治療を受けて頂けるよう医療チームの一員として他職種に医薬品情報の提供を行っています。薬剤管理指導では、入院中の患者様に服薬指導を行います。

患者様の薬物治療に対する意識の向上を図るとともに、副作用モニタリングを行うことで質の高い医療の提供を目指しています。

### ●医薬品情報管理業務

医薬品に関わる情報を公的機関や医薬品メーカー書籍から収集・整理し、一元管理しています。

医師・看護師・薬剤師等の医療スタッフへ情報発信し、薬を適切に投与出来るようサポートしています。

医薬品の血中濃度を測定し、薬の効果を評価する為に血中薬物濃度モニタリングを行い、個々の患者様に適した薬物投与計画を提案しています。

## 📍スタッフインタビュー

私は、現在入社1年目の薬剤師です。

この病院は、脳・心疾患など緊急性の高い疾患をはじめ、消化器・整形など地域医療にも携わりのある病院なので様々な疾患が診られると思い入職しました。

入職してからは、中央業務と病棟業務を1ヶ月毎のローテーションで行いました。

現在は心臓血管外科・循環器病棟で、主にバイパス手術やカテーテル治療の患者様に対して薬剤管理指導を行っています。

病棟業務では患者様一人一人と向き合い、多職種と話す機会も増え、日々刺激を受けています。

まだまだ不慣れで反省の毎日ですが、患者様から感謝の言葉を頂いた時が私の一番のやりがいとなり、明日への目標となっています。

今年11月に増床して  
NEW OPENしました!



薬剤師：25名 / 助手：9名